

重点地区まちづくり計画を 検討する区域の指定の理由書

- 1 重点地区まちづくり計画を検討する区域の名称
上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）

- 2 理由

上井草駅周辺地区（下石神井四丁目）は、練馬区都市計画マスタープランにおいて生活拠点として位置付けられ、交通の安全性や買物などの利便性・快適性を高めるとともに地区の特性に配慮した商業環境の向上などを図っていくこととされている。しかしながら、西武新宿線の踏切による交通渋滞や歩行者の安全対策、賑わいのある商業環境の整備など様々な課題を抱えている。

このような中で、平成 20 年 6 月に西武新宿線（井荻～東伏見駅付近）が東京都の連続立体交差事業の事業候補区間に選定された。

これを契機として、生活拠点としての機能を高めるまちづくりを推進していくために、練馬区まちづくり条例（平成 17 年 12 月条例第 95 号）第 40 条に規定する重点地区まちづくり計画の策定を予定している。

そのため、本地区を同条例第 42 条に規定する「重点地区まちづくり計画を検討する区域」に定めるものである。

- 3 整備方針

西武新宿線（井荻～東伏見駅付近）は、連続立体交差事業の事業候補区間に選定されていることから今後の鉄道の立体化を見据え、生活拠点としての機能を高め、武蔵野の面影を残す美しい緑に囲まれ、住宅街としての住環境が整備された、買物や通勤、子育てにも便利な人に優しく暮らしやすいまちづくりを目指す。